

夢窓幼稚園通信第33号

2021年7月19日

子どもたちがひとり静かに、あれこれ思い巡らしながら遊んでいます。何やらつぶやいている言葉からすると、今いる幼稚園のままごととコーナーではなく、どこか違う場所や時の中を過しているようです。実にしっとりとしていて、さぞ心の中には魅力的な世界がふくらんでいるのだろうなと思いました。

また、その反対に仲間で「〜しよう!」と誘い合って、群れて活発に遊んでいるのを目の当たりにしたり、流れてくる声を聞くと、これもまた山盛りのおかげなのかなと思います。

もちろん一人でもアクティブに鉄棒の前回りに挑戦したり自転車を乗り回すあそびもあれば、たくさん仲間とでもしっとりと創作したりイメージふくらませたのびのびあそびに興じることもあるでしょう。

仲間と共にでも、一人でも、時に子どもたちのエネルギーは外に向かって輝くように広がり、時に心は未知なる世界や内面奥深くへとゆたかさをふくらませていくのでしょ。

子どもたちは そうやって、ある時は仲間と ある時はひとりで世界を遊ぶ自分を大きくしていくのでしょ。

子どもたち同志 お互いに大きな影響を与え合っているのに違ひありません。一人の時間と 仲間との時間は、メビウスの輪のようにつながり、ある時は一人としての自分らしい時間を過し、ある時はそれぞれを出し合いながらのドラマチックな仲間時間を泳ぎ回るのですね。

4月からの数ヶ月に、途中からの子どもたちはそれぞれの期間の中で、そのような生活を重ね、一人ひとりその子そのこの物語をつむぎ、今1学期の終業です。

なつの休みに 子どもたちは1学期の様々な体験を身体の内深くへと消化していくことでしょ。

夢見るように忘却さえしていけることは、幸せなことです。たくさん夢を見ることが出来ますように!

安心した眠りの時が持てますように!

そして 夏ならではの冒険を続けることが出来ますように!

大人も日頃の暑さを果敢しながら、夏を存分に味わえるといいですね。

例えば 私は、64回目のはじめの夏をわくわくと迎えます。

季節から与えられたものを私の中に果実として実らせ、秋へとつながる時にいのちを注いでいきたいと思っています。

よき なつき お過ごし下さい。

園長 升光 泰雄